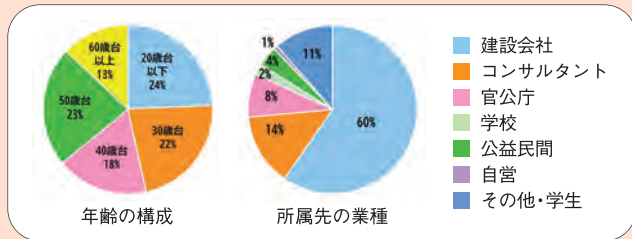


会の沿革

- 1982年 任意団体「土木技術者女性の会」を創立
- 2013年 法人格を取得し、「一般社団法人 土木技術者女性の会」へ
- 2014年 内閣府「平成 26 年度女性のチャレンジ賞」を受賞
- 2018年 (公社) 土木学会「土木広報大賞 2018 審査員賞」を受賞
- 2024年 (公財) 日産財団「第7回リカジョ育成賞準グランプリ」を受賞
- 2024年 (公社) 土木学会「インフラメンテナンス チャレンジ賞」を受賞

会員の構成

- ・国内外あわせて500名以上が在籍
- ・会員の種別は、正会員、学生会員、サポーター（個人・団体）
- ・正会員の約半数が30代以下の若い世代で構成
- ・会員の所属先は、建設会社、コンサルタント、官公庁や大学の他、フリーランスなど多種多様
- ・技術士、コンクリート主任技士、測量士、1級土木施工管理技士などの資格取得者が多数



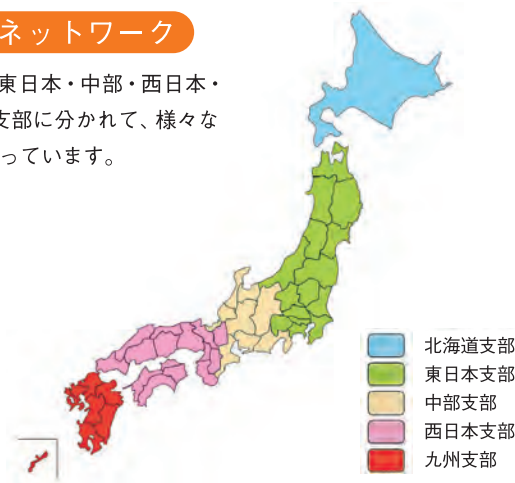
※円グラフは正会員・学生会員を対象としています。

※正会員・学生会員は女性限定となりますが、サポーターにつきまちは男性の入会も可能です。

現在、団体も含め多くのサポーターからご支援をいただいています。

会員ネットワーク

北海道・東日本・中部・西日本・九州の5支部に分かれて、様々な活動を行っています。



会からの発信



会誌「輪(りん)」

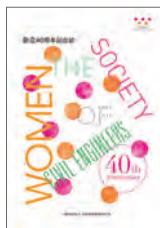
創立当初より発行されている会誌です。現在は年2回、電子版で発行しています。会の活動の報告や、会員による寄稿などから構成されていて、身近に仲間やロールモデルのいないことが多い女性技術者の貴重な情報源になっています。



「Civil Engineer への扉」

土木技術者を目指す女性にとって就職活動の参考になるように出版した冊子です。14名の会員が土木技術者としての働き方や未来の土木技術者に向けたメッセージを紹介しています。

創立40周年記念誌



会では、40年に及ぶ活動の軌跡と将来への展望を描いた記念誌を制作しました。

この記念誌には、会の現況やこれまでの歩み、歴代会長のインタビュー、そして若手会員による座談会と会員アンケート(いま、そして100年後の土木界)など、数々の貴重なエピソードや思い出が盛り込まれています。

カラフル・パワフル・ハートフルな女性土木技術者たちが歩んできた歴史と共に、その魅力と情熱にも触れていただければ幸いです。



一般社団法人 土木技術者女性の会

FOLLOW ME!

SNSでも情報を発信中♪

facebook



X



Instagram



Website



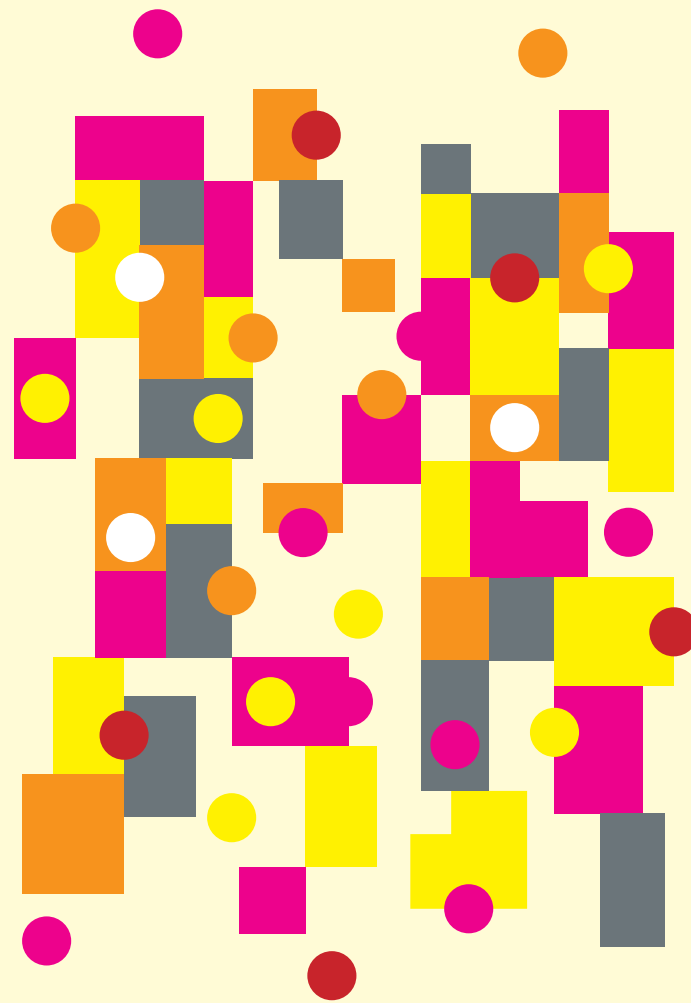
お気軽にお問い合わせください！

✉ infoswce@womencivilengineers.com

土木技術者女性の会

ご連絡をお待ちしています。

会長 南 朋恵





一般社団法人
土木技術者女性の会
第8代会長

南 朋恵

当会は、1982年に創立し、2022年には創立40年を迎えました。会員は国内外で500名を数え、2023年3月には、創立40周年記念誌が発行されました。先輩方から引き継がれた長い歴史をひしひしと感じます。1985年に作成された「活動の目的」を改めて見返すと、働きやすい環境作りや社会的評価の向上は、男女を問わず今でも土木界全体で取り組む課題ですし、知識向上や次世代育成も継続的に取り組むものです。もちろん、はげましあいも。

現在、女性土木技術者を取り巻く環境は改善されつつあり、土木分野で働く女性も増えてきました。しかしながら、この目的を十分に達成できているとは、まだ言えません。これからも、女性土木技術者の「よりどころ」となるような活動を継続していきたくと考えています。

土木技術者女性の会は、女性技術者の質の向上と活動しやすい環境づくりのために、次の5つの目的を掲げています。

- 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
- 土木界で働く女性技術者の知識向上
- 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
- 女性土木技術者の社会的評価の向上
- 土木技術者を目指す女性へのアドバイス

会は2022年に
創立40年を
迎えました。

会の対外的活動

- 全国土木施工管理技士会連合会の理事に就任
- 建設産業女性定着支援ネットワークの幹事長・幹事団体として活動
- 国土交通省主催の「建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会」に委員として出席
- 官公庁を始めとする各種団体主催の各セミナー等で講演
- 学生を対象とした理工系への入職推進活動

この他、若手技術者の育成支援や、他の女性団体への活動協力をおこなっています。

会の活動

総会や見学会、セミナー、勉強会などを開催しています。また、最近では、土木学会や官公庁、大学、高等専門学校との連携により、女子学生を対象としたキャリアセミナーや、小学生以上を対象とする「夏のリコチャレ」への登録イベントを開催するなど、次世代育成にも力を入れています。



勉強会

ICT施工やBIM・CIM、インフラメンテナンス、防災やPR、働き方改革に関することなど多岐に渡っています。



現場見学会

鉄道やダム、トンネル、橋梁など様々な建設現場や建設機械の工場などを見学しています。



総会

年に1度、全国の会員が集まります。全国の会員との交流の場です。

オンラインも活用
したイベントも！



次世代育成

将来を担う学生のみさんに、土木の世界をもっと知ってもらう活動を続けています。

そのほかにも、様々な活動をおこなっています！
詳しくは Web サイトまで♪



社会への働きかけ

今では多くの女性土木技術者が、トンネルやシールド等の坑内での現場管理に従事していますが、2005年以前は、労働基準法で女性の坑内労働は全面禁止されていました。そこで会では、会員からの相談に応え、女性の坑内労働禁止の規制緩和に取り組み、2006年労働基準法改正によって、現場監督など「技術者」としての就業規制は緩和されることになりました。

